



安全性データシート

発行年月日 2014年4月24日

改訂年月日 2025年11月6日

改訂番号 1.1

1. 化学品および会社情報

項目	内容
製品名	N2000, S2000, N4000, N5100, N8000, S8000, N10200, N15000, N18000, N30000, S30000, N62000, N150000, N190000, N450000, N2700000, N2700000SP, GJ3000P, VP1600, VP2400, VP3000, VP3700, VP5800, VP8400, ATS-DSR (単一物質)
含有成分	ポリブテン
推奨用途	粘度計および密度測定機器の校正・性能確認用標準液
供給者 (国内責任事業者)	株式会社エスティーエム 埼玉県入間郡毛呂山町川角 502-6 TEL 049-276-1060 FAX 049-276-1059
製造者 (海外)	Cannon Instrument Company 2139 High Tech Rd., State College, PA 16803-1733, USA

2. 危険有害性の要約

危険有害性の分類 (GHS分類 日本版)

該当なし (CLP規則による分類でも非危険物)

GHS絵表示 : なし

注意喚起語 (Signal word) : なし

危険有害性情報 (Hコード) : 該当なし

注意文 (Pコード) : 該当なし

その他の有害性

- 皮膚接触により有害なおそれ

3. 組成及び成分情報

成分名	CAS番号	含有率（質量%）	GHS区分（Hコード）
ポリブテン	9003-29-6	100	該当なし

4. 応急措置

経路	応急処置
吸入	新鮮な空気の場所に移し、安静に保つ。症状がある場合は医師の診察を受ける。
皮膚接触	石けんと水で洗浄する。症状が現れた場合は医師の診察を受ける。
眼への暴露	多量の水で洗眼（まぶたの裏も含む）。症状が持続する場合は眼科医を受診。
飲み込み	口をすすぎ、嘔吐させない。意識のない者には何も与えない。症状が現れた場合は医師の診察を受ける。
応急処置者の保護	処置時には適切な個人用保護具（手袋、防護眼鏡等）を着用し、皮膚や眼への接触を避ける。

5. 火災時の措置

- **使用可能な消火剤**：周囲状況に応じた消火剤（粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、水スプレーなど）を使用
- **使用してはならない消火剤**：特に指定なし
- **特有の危険性**：燃焼により有害ガス（CO、CO₂）が発生する可能性
- **消火者保護具**：正圧式 SCBA（自給式呼吸器）、耐火防護服、保護手袋、防護眼鏡／フェイスシールドを着用
- **消火活動上の注意**：風上から行動し、安全距離を確保。周囲の容器を水で冷却。

6. 漏出時の措置

人体への保護措置

- 関係者以外の立ち入りを禁止
- 十分な換気を行い、皮膚・眼・衣類への接触を避ける
- 滑りやすくなるため注意すること

環境汚染防止策

- 下水道、河川、土壌への流出を防ぐ

封じ込めおよび収集方法

- 安全に行える場合は漏出を止める。
- 不燃性吸収材で吸収し、ラベルを付けた密閉容器に回収。
- 汚染区域や物品は環境規制に従い適切に清掃・廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い時の注意：

- 皮膚、眼、衣類への接触を避ける
- 必要に応じて適切な個人用保護具を着用する（セクション8参照）
- 作業中の飲食・喫煙は禁止
- 取り扱い後は手洗いをし、汚染衣類は再使用前に洗浄する

衛生管理

- 汚染した保護具や衣類は再使用前に内側まで洗浄する
- 作業終了後は速やかに洗浄を行う

保管条件：

- 容器を密閉し、乾燥した涼しい換気の良い場所に保管する。
- 保管場所の推奨クラス（TRGS 510）：LGK 10（可燃性液体類、非危険物）
- 強酸化剤などの不適合物質と隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

- 本製品に関して、国内外で職業ばく露限界値は設定されていない

工学的対策

- 局所排気設備または全体換気を設置し、必要に応じて洗眼器や安全シャワーを備える

個人用保護具

- 呼吸用保護具：通常条件では不要。換気不足やばく露が予想される場合は有機ガス用マスクを使用
- 手の保護：耐油性・耐薬品性手袋（EN 374準拠）
- 眼の保護：側面保護付き安全メガネ（EN 166準拠）
- 皮膚・身体の保護：適切な防護服

衛生対策

- 皮膚、眼、衣類への接触を避ける
- 作業中の飲食・喫煙は禁止
- 作業後は手洗いを励行

9. 物理的及び化学的性質

項目	記載内容
外観／状態	無色液体
匂い	微弱な炭化水素臭
融点／凝固点	データなし
沸点範囲	データなし
引火点（閉カップ）	> 115 °C
粘度（動粘度）	1,600 ～ 1,600,000 cSt @ 40 °C
可燃性	データなし
水溶性	水に不溶、溶剤に可溶
比重（15°C）	0.88 ～ 0.92
蒸気圧	データなし
自動着火温度	データなし
爆発範囲	データなし

10. 安定性及び反応性

- **安定性**：通常の使用・保管条件下で安定。
- **危険反応の可能性**：通常の使用条件下では反応しない。
- **避けるべき条件**：不適合物質（強酸化剤など）との接触。
- **不適合物質**：強酸化剤
- **危険な分解生成物**：燃焼時にCO（一酸化炭素）、CO₂（二酸化炭素）が発生する可能性あり。

11. 有害性情報

ばく露経路ごとの情報

- 吸入：ミストを高濃度で吸入した場合、呼吸器系に刺激を与える可能性あり
- 皮膚接触：軽度の皮膚刺激や皮膚乾燥を引き起こす可能性あり
- 眼接触：軽度の刺激の可能性あり
- 飲み込み：胃腸障害（吐き気、嘔吐、下痢など）の可能性あり

急性毒性（成分情報）

- 区分：該当なし（既知データに基づく）
- ポリブテン：経皮 LD₅₀（ラット） > 2,000 mg/kg
- 吸入（ダスト/ミスト） LC50 19.171 mg/L/4h

皮膚腐食性／刺激性

- 該当せず

眼に対する重篤な損傷性／刺激性

- 該当せず

呼吸器感作性／皮膚感作性

- 該当せず

発がん性

- 該当せず

変異原性

- 該当せず

生殖毒性

- 該当せず

特定標的臓器毒性（単回ばく露・反復ばく露）

- 該当せず

誤えん有害性

- 該当せず

12. 環境影響情報

水生環境有害性

- ポリブテン：ミジンコ（Daphnia magna、48h） $EC_{50} > 100$ mg/L（有害性低い）

生分解性

- データなし

生体蓄積性

- ポリブテン： $\log Pow = 7.8$ （高い蓄積性の可能性あり）

土壌移動性

- データなし

PBT/vPvB 判定

- 内分泌かく乱特性：該当なし

その他の有害性

- 該当なし

13. 廃棄上の注意

- 本製品および未使用残渣は家庭ごみとして廃棄せず、法令に基づき産業廃棄物処理業者に委託すること。
- 汚染容器は再利用せず、内容物を除去し密閉の上、専門業者に廃棄を依頼する。
- 廃棄物コード（参考：EWC/AVV）は用途により使用者が判断すること。
- 処理は地方自治体および環境法令に従う。

14. 輸送上の注意

項目	内容
UN番号	該当なし（非規制物質）
輸送上の名称	該当なし
危険物クラス	該当なし
包装等級	該当なし
海上汚染性	該当なし
適用規則	ADR、RID、IMDG、IATAいずれも非規制
輸送上の特別注意	容器破損防止のため立てて保管・輸送すること

15. 適用法令

法令名	該当性	備考（管理番号や分類など）
労働安全衛生法（安衛法）	非該当	ラベル表示・SDS 提供義務なし
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	非該当	ポリブテンは指定外
特定化学物質障害予防規則（特化則）	非該当	該当成分なし
有機溶剤中毒予防規則（有機則）	非該当	第一種・第二種指定化学物質に該当せず
PRTR 法（化管法）	非該当	該当成分なし
消防法（危険物規制）	非該当	危険物に該当せず
化学物質審査規制法（化審法）	非該当	指定化学物質等に該当せず

16. その他の情報

- 発行日：2014年4月24日
- 改訂日：2025年11月6日
- 参照元SDS（英語版）：Revision Date 2024-09-10
- 略語：

GHS：Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）

LD₅₀：半数致死量

LC₅₀：半数致死濃度

PBT：難分解性・高蓄積性・高毒性物質

vPvB：非常に難分解性・非常に高蓄積性物質

- 参考文献：

- 欧州CLP規則（EC 1272/2008）
- JIS Z 7252:2019（化学品の分類に基づく表示及び文書による警告）
- JIS Z 7253:2019（安全データシートの作成方法）
- 経済産業省 GHS分類ガイダンス
- 各成分のSDS（製造者公表値）

免責事項：

本SDSは、現時点で入手可能な情報と知見に基づいて作成したものであり、安全性を完全に保証するものではありません。本資料は、化学品の適正な取扱い、安全対策、法令遵守のための参考資料であり、特定の使用条件における適合性や性能を保証するものではありません。使用者は、適用される法規制および使用条件に従って、本製品を安全に取り扱う責任を負います。

安全データシート終わり